

平成 22 年 1 月 20 日

## 住まいづくり支援建築会議 情報事業部会議事録（案）

日時：平成 22 年 1 月 20 日（水）19：15～21：15

場所：本会 201 会議室

出席者：部会長 中田捷夫

主 査 水津牧子

幹 事 小檜山雅之（記録）、山本洋史

委 員 加藤晃敏、富田路易、橋本彼路子、松本真理

### ■資料

No.5-1 2009 年 11 月 27 日 情報事業部会議事録（案）

No.5-2 住まいづくり各部会の決算見込み

No.5-3 運営委員会幹事会報告

No.5-4 住まいづくり市民セミナー@富山について

### ■審議

#### 1. 前回議事録（資料 5-1）

承認された。

#### 2. 部会決算見込みについて（資料 5-2）

- ・ 残り予算について、ウェブ関連で使用することが承認された。水津主査と小檜山幹事が協議し予算執行する。

#### 3. 運営委員会幹事会報告（資料 5-3）

- ・ 1 月 13 日幹事会について小檜山幹事から報告された。
- ・ 幹事会の改組案について下記の意見があった。
  - 情報事業部会と支援事業部会が運営委員会の傘下に位置するよう、階層構造を明示する。
  - 前部会長（3 名）は運営委員会委員の中に記入する。
  - 会員参加分科会の名称が、住まいづくり支援建築会議会員が活躍できる分科会であることがわかりにくい。
  - 運営委員会傘下の「市民セミナー」は、「市民セミナー実行委員会」とする。各部会が独自に企画する市民セミナーではなく、大会時期に毎年行う住まいづくり市民セミナーを担当する。各支部で取りまとめを担当する方が実行委員に加わる。
  - ホームページ WG は各部会・実行委員から委員を派遣する。
  - 活動が市民に分かりやすいように、ホームページでの見せ方を工夫する。
  - 住まいづくり支援建築会議会員に 4 年間の成果と活動実態を送付し、今後も参加続けるかを問う意思確認を行うべき。

#### 4. 戸建 WG 活動報告

- ・ 戸建 WG 直後に部会が開催されたため、報告は省略。

#### 5. 住まいづくり市民セミナー@富山について（資料 5-4）

- ・ 運営委員会幹事会で事業予算 15 万円の案となった。
- ・ 富山県建築住宅センター小林英俊専務理事から企画、スケジュール、役割分担、予算の案が示された。
- ・ 案について、下記の意見があった。
  - 講演テーマをもっと絞り込んでもよい。コンセプトのエコハウス・安心できる住まい・バリアフリーの3つくらいがよい。
  - 情報事業部会から講師打診などお手伝いの必要がないか確認する。
  - 高齢者に優しい住まいに関しては、熱のバリアフリーやスロープの積雪対策など、環境等と複合した視点が重要。富山県は入浴中に死亡する高齢者が全国一多い。
  - 集客には有名建築家の講演などがあるとよい。適任者がいないか中田部会長があたる。
- ・ 一般市民を呼び込む方法については継続して検討を行う。

#### 9. 今後の活動について

- ・ 改組案は 2 月 26 日運営委員会で審議される。3 月 17 日全体総会で服部運営委員長から報告し協議する。
- ・ 3 月 17 日全体総会で中田部会長が活動報告を行う。
- ・ 中田部会長から次期部会長として小檜山幹事の指名があった。
- ・ 次期は戸建に関する活動を継続することと、中古住宅（マンション・戸建）や環境性能に関する活動を行う提案があった。
- ・ 情報事業部会委員は基本的には次期も委員を継続していただく。
- ・ 次年度委員の募集を行う。とくに若手で適任者があれば紹介していただきたい。

以上